

地域で子どもを育てるネットワークづくり

下関市立山の田中学校

学校運営協議会について

① 委員の構成と実施回数

13名（自治会長、PTA役員、地域の方々、教職員）・年間6回（偶数月の月末）

② 主な協議内容

- ・学校運営方針と学校課題の協議（6月）
- ・1学期学校自己評価、学習活動「新しい学びのスタイル」の状況報告（8月）
- ・感染症対策に係る学校行事について、部活動の在り方について（10月）
- ・2学期学校評価に関する報告（12月）
- ・来年度の学校運営方針の承認（2月）

③ コーディネーターの活動

- ・学校応援団を組織し、授業支援等学校に必要なボランティアスタッフの募集
- ・朝読書読み聞かせ事業（第3木曜日）
- ・月曜日学習支援事業
（月スタ・夏スペシャル・冬スペシャル）
- ・木曜日コミュニティールーム活用事業
（ぷらっと山の田）



ぷらっと山の田
"ドミノに挑戦"
"アプリでミュージック"



特色ある活動

◆小中連携との運動による

9年間を意識した取組

- ・「にじいろネットカレンダー」の作成・配布
- ・「家庭学習の手引き」の配布・活用
- ・「家庭学習がんバッタ週間」の実施
- ・山の田中学校区小中合同授業研究会の実施

来年度に向けて

- ・来年度に向けて、学校運営方針を2月学校運営協議会で承認してもらいます。
- ・学校応援団の充実に向けて、今後も地域・保護者への募集を継続していきます。
- ・生徒・保護者への周知や呼びかけを工夫をして、諸活動の充実を図ります。

「地域とともにある学校」をめざして

下関市立生野小学校

学校運営協議会について

本校は、山の田小学校・山の田中学校と情報交換をしながらコミュニティ・スクールを推進しています。特に、小中連携による9年間の学びを意識した活動に取り組んでいます。本年度は、新型コロナウイルスの影響から多くの活動が自粛となりましたが、感染防止対策をしながら継続して実施することができた活動も多くありました。

特色ある活動

◆花いっぱい運動

毎月第1・3月曜日に地域の方が来校されて、季節を感じるたくさんの花を花瓶に生けていただいています。休み時間になると担当の委員会の子どもが教室や廊下、手洗い場、トイレなどに飾るようになっています。花がある環境のおかげで、落ち着いた学校生活を送ることができています。



◆家庭科サポート

高学年の裁縫学習では、地域の方から学習支援を受けています。特に、ミシンを扱うときは、各グループに入っただき、上糸のかけ方や運針の仕方など、安心安全に活動することができています。また、調理実習にも参加協力をお願いして、調理のポイントなどをアドバイスいただいています。



◆もくもく掃除運動

月末の金曜日は「もくもく掃除運動」として、地域の方から環境美化のサポートを受けています。特に、子どもたちだけでは掃除が行き届かないトイレや窓ガラスなどをきれいにいただいています。そんな姿から地域の方と一緒に美しいきれいな学校をめざす心情が育ってきています。



来年度に向けて

コミュニティ・スクールの活動を継続することで、環境美化や学習支援などの仕組みが定着してきています。しかし、学校運営協議会と地域教育ネットの活動について、十分に周知できていないという課題もあります。今後の会議や研修会において「地域づくり」「学校づくり」の視点をもって工夫改善をしていきたいと思ひます。

「地域とともにある学校」をめざして

下関市立山の田小学校

学校運営協議会について

昨年度は3回行った学校運営協議会ですが、今年度は5回開く計画を立てていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、1学期は書面開催しかできず、年4回の開催となりました。また、昨年度は夜に行っていましたが、今年度は子供たちの授業の様子を委員の皆様に見ていただいてから協議する形にしました。

【主な協議内容】

- ・今年度の学校運営方針（グランドデザイン）について
- ・綱紀保持研修について
- ・令和2年度の教育活動について
- ・学校評価アンケートの結果について
- ・全国学力・学習状況調査の結果について
- ・来年度の学校運営について、等



↑ 学校運営協議会

特色ある活動

◆校内整備作業について

毎年「山の田小を愛する会」に学校がお休みの日に行っていた校内外整備作業ですが、今年度は6年生と、PTA執行部と地域の方が一緒に平日に行いました。6年生は、今まで地域の方が自分たちの学校を整備してくださっていたことに気づき、地域の方々にとっても児童と一緒に活動することは励みになったようです。



↑ 校内整備作業

◆エコキャップの回収

学校運営協議会の協議の中で、「地域でごみのリサイクル活動をしているが、学校でも協力してもらえないか」という話が出ました。社会科でごみの学習をする4年生に話したところ、エコキャップを集めて社会に役立てようということになりました。12月と2月に児童中心に回収活動を行い、集まったキャップは社会福祉協議会に渡しました。



↑ エコキャップ贈呈式

来年度に向けて

学校評価アンケートで、毎年課題として上がるのが地域の素材を学習に取り入れるという項目です。校区内にはたくさんの素材があると思われるので、地域を取り扱った学習を、継続可能となるように教育課程の中にしっかりと位置づけたいと考えています。地域のことを知ることで、地域に今まで以上に愛着を感じることができると思います。

また、今年度も、年度途中から学校運営協議会委員を1名増やしましたが、さらに何名か増やして地域との協力体制をより強化したいと考えています。